

# 国際会議へ参加しました!

## ■報告者

神庭 豊久 (58期)  
●Toyohisa Kaminiwa  
国際委員会 副委員長

岡田 尚子 (59期)  
●Hisako Okada  
当会会員

高橋 尚子 (61期)  
●Hisako Takahashi  
当会会員

渡邊 純子 (64期)  
●Junko Watanabe  
当会会員

鈴木 悠介 (66期)  
●Yusuke Suzuki  
当会会員

鎌田 千翔 (67期)  
●Chika Kamata  
当会会員

人見 啓太 (67期)  
●Keita Hitomi  
当会会員

八島 俊紀 (67期)  
●Toshiki Yashima  
当会会員

我妻 由香莉 (67期)  
●Yukari Wagatsuma  
当会会員

吉村 充弘 (68期)  
●Mitsuhiro Yoshimura  
当会会員

## 1 国際会議参加報告総論

**神庭** 昨年度はAIJAやLAWASIAといった大規模な法律家の国際会議の年次大会が東京で開かれるなど、弁護士にとって国際会議に参加するチャンスが非常に多い年でした。当会では若手会員を対象として法律家の国際会議への参加の援助をしており、また国際委員会では国際会議参加初心者向けのセミナーを実施したり、国際会議の東京での開催に合わせて各国弁護士会等の幹部を招待したレセプションを開催（参加者合計100名以上!）するなど、多方面において会員の国際会議への参

加を後押し、かつ弁護士の国際的な活動の幅を拡げるといった活動も精力的に行っております。本稿では当会の援助等を得て国際会議へ出席した先生方の新鮮かつ活気のある報告等をご紹介します。

## 2 AIJA東京大会(2017年8月28日~9月1日)参加報告

### (1) 会議運営側での参加

**岡田** 2017年度のAIJA（ブリュッセルに本部を置く国際若手法曹協会）の年次大会が東京で開催されました。同大会において私は日



LAWASIA ウェルカムパーティー司会(神庭弁護士)



AIJA セッション司会(岡田弁護士)

本側の組織委員会のメンバーとして活動しました。具体的には、2016年の年始からAIJA本部の組織委員会のメンバーとともにセッションのテーマ及び大会の開催場所等を議論するとともに、AIJA年次大会の特徴的なイベントであるホームホスピタリティ・ディナーのホストを務めました。毎年500名以上の法律家が参加する年次大会として何が適切なのか、海外の期待値と日本で現実的に対応可能な範囲を模索する過程は大変である一方で、海外の法曹の関心事項等を知る有益な機会になるとともに、ホームホスピタリティ・ディナーのホストとして外国人参加者が日本の家庭料理を囲みながら文化の相互交流を図る機会を作れたこと及びその機会への感謝を受けたことは貴重な経験となりました。

## (2) 会議セッション等について

**鈴木** 2017年AIJA東京大会のテーマは「人工知能（AI）が法律業務に及ぼす影響」でした。数あるプログラムの中から、私は、「人工知能（AI）概論と法律業務へのインパクト」、「ロボットによるカルテル」、「ABA-SIL/法律分野での人工知能倫理」等に参加しました。特に、「人工知能（AI）概論と法律業務へのインパクト」においては、人工知能研究のトップランナーである松尾豊氏から、人工知能についての解説を聞ける機会を得られたことは貴重でした。法律家にとって、人工知能の問題は、①人工知能によってもたらされる社会問題・法的論点について法律家としてどのように向き合うかという問題と、②法律家の業務に人工知能をいかに活用していくかという問題に大別できるように思われます。今回のプログラムは、上記①及び②のいずれの問題を考える上でも示唆に富む内容でした。人工知能のように社会に大きな変革をもたらす技術であればこそ、社会の既存の枠組みやルールとの間で、大きな摩擦を生じます。今後は、こうした既存のルールを深く理解している法律家こそが、人工知能が広く社会に受け入れられるための仕組み作りのプロセスにおいても、積極的かつ重要な役割を果たすことが求められるであろうとの思いを強くした次第で

す。

## (3) 会議プログラム等について

**人見** 私が最も印象に残っているセッションは、「ロボットによるカルテル」をテーマにした、競争法のセミナーでした。このセミナーは、AIやアルゴリズムを用いた価格調整や共同行為に対する競争法の規制について議論する内容のものでした。セミナーを主催したAIJA競争法委員会のメンバーの弁護士たちと交流する機会があり、もし興味があれば次回以降の大会でスピーカーを務めてみないかと誘われました。私は、AIJAのメンバーたちが若い弁護士にも積極的にスピーカーを務める機会を与えようとすることに感銘を受けたとともに、自分も将来機会があればスピーカーを務めてみたいと思いました。ディナーパーティーでは、ダンスフロアが用意されており、DJが流す音楽にのせてほかの参加者たちと踊りました。大会で知り合った弁護士を誘って踊っていると、周りから次々と挨拶され、踊りながら名刺交換してくれる人もいました。私は、これまでABAの大会に参加したことはありませんでしたが、ほかの参加者たちと踊ったのはAIJAが初めてでした。参加者同士で一緒に踊ったり、歌ったりして（二次会でカラオケに行きました）、親睦を深められるのもAIJAの特徴の1つだと実感しました。

## (4) 当会有志企画側での参加

**鎌田** AIJA東京大会において、海外からの参加者を夕食にお招きして日本文化を体験していただく、ホームホスピタリティ・ディナーという企画に参加させていただきました。予想以上にゲストが多く、急遽グループを2つに分け、私は8名のゲストをほか2名の先生方とともにお迎えしました。ゲストからは出身国のお土産をいただき、私たちは日本の食文化を紹介しました。ゲストは、全員異なる国の出身者で、ルクセンブルクやブラジルの方もおりました。ベジタリアンの方もおり、居酒屋での食事で苦慮した部分もありましたが、全体会議では海外からの参加者に声をかけられずにいた一方で、この少人数での交流では仲を深めることができました。その後もゲス

トから宴の席に招いていただき、ほかの参加者をご紹介いただくなど、人脈を広げることができました。AIJAではコーヒープレークの時間に、参加人数が急増する等、参加者がインフォーマルな個人レベルでの交流を大切にしているようです。その観点からも、今回の少人数での食事会への参加は、世界規模での人脈作りにとって非常に有益な機会となりました。

### 3 LAWASIA東京大会(2017年9月18日~21日)参加報告

#### (1) 会議セッション登壇側での参加

**高橋** 資源・エネルギーセッションにモデレーターとして参画の機会をいただき、パネリスト選定から当日の発表まで準備を進めてきました。事前準備では、各国に散在するパネリストとのコミュニケーションが取りづらい時期もありましたが、組織委員会のコーディネーターの先生方に献身的なご支援をいただきました。自分自身は、セッション冒頭の10分間で、①クリーンエネルギーやSDGsに関する国際的潮流、②アジア太平洋地域における再生可能エネルギー政策の概要、③日本の再生可能エネルギー政策の沿革及び現在の課題について発表を担当しました。ほかのパネリストの発表との整合性を考えながら内容をまとめるのには苦勞しましたが、当日の会場の皆様からのコメントも含めて、非常に勉強になりました。セッション全体を振り返ると、



LAWASIA セッション登壇者らとともに(高橋弁護士)

抽象的な法政策の紹介にとどまらず、統計データ等も盛り込んだ多角的な発表にまとめ、スライド資料も充実していたという反響もいただけて、有益な意見交換になったと感じます。準備作業を通じて、スピーカー同士の一体感が生まれ、良好なネットワークを築くこともできました。今回の経験を糧に、今後も継続的に国際会議に参画していきたいと思えます。

#### (2) 会議プログラム等について

**渡邊** 今回初めての国際会議への参加でしたが、アジアのみならず世界各国から合計千六百人を超える法律家が参加しており、予想を遙かに上回る大盛況でした。私は現在、日系企業のアジアへの進出案件などのアジア法務を中心に業務に携わっているため、いずれの講演テーマも非常に興味深く、特にアジア各国におけるM&Aの外資規制と実務上の対応例のアジア諸国での比較などは、日々の業務に密接に関連する分野として興味深く、また、アジア企業の欧州ビジネス投資に関する近時の動向などアジア以外の他地域の実務動向も含めたセッションも、今後のさらなるグローバル化を意識することにもつながり、非常に刺激的でした。また、各セッションの間には他国からの参加者と気軽に会話も行うことができ、東南アジア各国に加え、バングラデシュ・オーストラリアなど日常のアジア業務では接点の薄い国の弁護士とも交流を深めることができました。セッションの後は、非公式な場で、各国の弁護士事情や各自の仕事に対する思いや、開催地が日本であるため今回参加したという嬉しい声なども聞くことができ、国境を越えた各国の弁護士同士の交流を図ることができた非常に刺激的な4日間でした。

#### (3) 会議セッション等について

**八島** 今回、初めてLAWASIA東京大会に参加しました。アジア諸国の弁護士を初めとした法律関係者によるセッションに多数出席することで、各国における法制や、最新の法律問題等について理解を深めることができました。日ごろの業務の中で、このような方々

から直接お話を聞く機会は少なく、書籍等によっても知ることのできないリアルな情報を得ることができたため、LAWASIA東京大会への参加は、私にとって大変有意義なものでした。特に、アジアにおける国際仲裁や、腐敗防止法に関するセッション等は、現在の実務上問題となっている論点等についてご解説いただくもので、今後、国際法務に携わる上で非常に有益であると感じました。また、アジア太平洋地域における企業内弁護士の状況に関するセッションや、ランチタイムに行われたアジア太平洋地域におけるLGBTの権利に関するセッション等は、他国の状況だけでなく、それとの比較において、日本の状況に関する見識をいっそう深めることができたという点においても有益でした。今回、LAWASIA東京大会への参加を通じ、様々な法分野について理解を深めるとともに、多くの方々と交流することができ、またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

#### (4) 当会主催レセプション企画運営参加

##### (ゲストアテンド・交流等)

**我妻** 私は、当会主催の「二弁レセプション」に、ゲストアテンド担当として参加しました。役割内容は、国毎に割りあてられた国別アテンドとは別に、アテンドを必要とするゲストを探して随時アテンドすることでした。国際会議に初参加の私は、アテンドのいろはも分からない状態で当日を迎えましたが、事前打合せと、その場の先輩方のフォローにより、有意義かつ大変楽しい時間を過ごすことができました。特に、仕事で度々連絡を取る台湾の法律事務所の弁護士と会うことができ、所属事務所や日本の弁護士がどのように見られているか話せたことは大変嬉しかったです。細々ながら二弁の委員会に顔を出していたご縁で、アテンドの仕事に携わる機会をいただけたことに感謝しております。招待ゲストのみで開催されるレセプションは、どこを見ても日本を含む各国弁護士会の要人ばかりでした。近くの先生に声をかけ自己紹介をしたところ、とても普段はお会いできないような方であることを知り大変恐縮したものの、名刺

交換させていただけたことに内心うきうきしたのも良い思い出です。この刺激を忘れずに、今後も国際会議の場にぜひ参加したいと強く思った一日でした。

#### (5) 当会主催レセプション企画運営参加 (事前準備・演奏等)

**吉村** 当会では、LAWASIA東京大会に際して東京に集まる諸外国の弁護士会の理事者クラスとネットワーキングを行うことを目的として、大会2日目である平成29年9月19日にLAWASIAの会場付近にてレセプションを行いました。私は、国際委員会のメンバーとして、このレセプションの準備に携わったほか、会場での接遇や日本文化を紹介する三味線演奏を担当しました。国際委員会では、このレセプションの主担当である第1部会を中心に議論を重ね、会場や設営、当日の役割配分、当会の紹介ビデオ等コンテンツの調整などを行いました。LAWASIA会場からレセプション会場までの道順が少し複雑でしたが、写真入りで道順を説明した地図を作り、招待状とともにお渡ししたことで、ゲストの皆様には会場までスムーズに足をお運びいただけたと思います。また、大学時代のサークルの有志で三味線のパフォーマンスを披露し、その後は着物でゲストと写真撮影を行いました。久しぶりの人前での演奏に緊張しましたが、ゲストの皆様には日本文化を体感していただき、東京での当会レセプションの思い出を少しでもご提供できたことすれば幸いです。 **■**



LAWASIA期間中 二弁レセプション 伊東卓当会会長(当時)挨拶